

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
社会	地理		東京書籍

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○問いを重視して、単元を貫く「探究課題」を設定し、単元の終わりには課題を解決する構造となっている。毎時間「チェック」で、基礎的な内容を定着させ、また、章で学習した「基礎基本のまとめ」を設けて、より確実に理解できるようよく工夫されている。</p> <p>○「もっと地理」のコーナーでは、防災減災やSDGsといった持続可能な社会の実現に向けた諸課題によく対応している。</p>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○毎時間「トライ」と「見方・考え方コーナー」を提示し、位置や分布、場所、自然などの地理的な見方・考え方を働かせて考察できるようよく工夫されている。</p> <p>○まとめの活動では、学習してきた内容を活用しながら、主体的に活動するテーマを設定し、ツールミーニング法やウェビングなど、多様な思考ツールを活用しながら対話により学びを深められるようよく工夫された構成になっている。</p>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○単元の導入では、地域的特色が現れた写真資料や統計データがまとめられている。また、毎時間の授業では、大判の写真や2枚の対照的な写真が掲載されている。単元や本時で学ぶ地域やテーマに対する興味・関心が広がるようよく工夫された構成になっている。</p> <p>○世界の各気候帯での学びをはじめ、多くの箇所では、実際に生活する人々の工夫や地域的特色を踏まえた人々の努力に生徒が触れることができるようよく工夫された内容になっている。</p> <p>○発展的に課題解決できる「もっと地理」のコーナーがあり、生徒の興味・関心が広がるようよく工夫された構成になっている。</p>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○単元末では、探究課題に対して、文章でまとめる箇所が位置づいており、生徒が家庭でも課題解決学習に向かうことができるようよく工夫されている。</p>
3	<p>・地図・公共施設・情報通信ネットワークなどの活用は、どの程度取り上げられているか。</p> <p>・現実の問題に関する社会的事象は、どのように取り扱われているか。</p>	<p>○「地域調査の手法」の章では、調査の方法や資料の入手先について、目的に応じて地域の公共施設、情報手段などを効果的に使い分けるようよく配慮された内容になっている。</p> <p>○地理院地図にアクセスできたり、つまずきやすい学習内容の理解を助けるためのデジタルコンテンツがあったりするなど、情報手段を活用して学ぶことができるようよく配慮された内容になっている。</p> <p>○領土をめぐる問題について、竹島や尖閣諸島、北方領土が日本固有の領土であることが明記され、島の写真や地図を根拠に学ぶことができるようよく配慮されている。</p>
4	(1) 教科書の重量やページ数	<p>○574g、302ページ。紙を薄く強くすることにより、3.1%軽量化した。</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した紙面や図版を見直したの生徒も読みやすいよう、配慮されている。</p> <p>○写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成となっている。</p>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○巻末に用語解説、事項と地名に分けた索引を掲載するなどよく工夫されている。</p> <p>○他分野や他教科とのつながりがよくわかる分野関連・強化関連マークを示し、QRコードを活用できるようにしている。</p>

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
社会	地理		教育出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1時間の授業を見通す導入資料を解説する場が設けられている。「確認」では本時の学習の中で、基礎的な事柄を押さえられるよう工夫されている。</li> <li>○ 「学習のまとめ」では、ワードチェックを設け、重要語句を説明できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に地理的な見方・考え方や地球課題とSDGsについて示している。</li> <li>○ 「読み解こう」では、資料を丁寧に読み取り考察する力、資料活用能力の育成を目指した工夫がされている。</li> <li>○ 「表現」では、本時の学習を振り返り、言葉で表現したり、対話したりすることで深い学びにつなげるよう工夫されている。</li> </ul>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の導入において、地域的特色を示した写真資料が掲載されており、地域を視覚的に大観することができ、生徒の興味・関心が広がるよう工夫された構成になっている。</li> <li>○ 世界の各州、日本の各地方の学びの中で、実際に生活する人々の工夫や地域的特色を踏まえた人々の努力に生徒が触れることができるよう工夫された内容になっている。</li> <li>○ 「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」のコーナーで現代的な問題と関連させて深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末では、重要語句を整理したり、学習テーマについて文章でまとめる場が設けられていたりするなど、家庭でも問題解決的な学習が確立するよう工夫されている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図・公共施設・情報通信ネットワークなどの活用は、どの程度取り上げられているか。</li> <li>・ 現実の問題に関する社会的事象は、どのように取り扱われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域調査の手法」の章では、文献を調べたり、博物館や資料館を訪れたりするなど、地域的特色を追究する際に様々な方法があることがよく明記されている。</li> <li>○ 二次元コードを読み取ることで、国土地理院や省庁などのHPにアクセスすることができ、学習に役立つ情報を見ることができるようよく配慮された内容になっている。</li> <li>○ 領土をめぐる問題について、竹島や尖閣諸島、北方領土が日本固有の領土であることが明記され、島の写真や地図、年表を根拠に学ぶことができるようよく配慮されている。</li> </ul>
4	(1) 教科書の重量やページ数	○ 600g、308ページ。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	○ UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した紙面や図版になっており、どの生徒も読みやすいよう、配慮されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他分野との関連のページを示している。</li> <li>○ 巻末にテーマ別の用語解説、索引を掲載するなど工夫されている。</li> </ul>

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
社会	地理		帝国書院

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の特色が理解できるように、世界と日本の地域学習の冒頭には「序説」を設置し、特色を追究する視点と地球的課題の関係がよく示されている。</li> <li>○防災・環境・共生への意識が高まるよう工夫がよくされている。</li> <li>○重要語句について解説されている。また、「確認しよう」では、毎時間の基礎的知識の理解を確認するコーナーがある。</li> </ul>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に地理的な見方・考え方やSDGsが示されている。</li> <li>○「説明しよう」では、言語活動を毎時間繰り返し行い、思考力・判断力・表現力が育成できるようよく工夫されている。</li> <li>○各章末には「①学んだことを確かめよう②地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう③持続可能な社会に向けて考えよう」と単元の問いに対して問題解決する場が設けられている。</li> </ul>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入において、地域的特色を示した写真資料が掲載されており、地域を視覚的に概観することができる。また、幅広の判型で写真などの資料が大きく、見やすく提示され、興味・関心が広がるよう工夫された構成になっている。</li> <li>○世界の各州や日本の各地方の学びでは、「声」のコーナーにおいて、実際に生活する人々の工夫や地域的特色を踏まえた人々の努力に生徒が触れことができるようよく工夫された内容になっている。</li> <li>○「地域の在り方を考える」のコーナーでは、具体的な事例から深く考えることができるよう工夫された構成になっている。</li> </ul>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末では、図でまとめるコーナーが設けられていたり、3つのステップで地域的特色を考察できるようになっていたりするなど、家庭において、生徒が段階的にまとめ、課題解決していくことができるようよく工夫された構成になっている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図・公共施設・情報通信ネットワークなどの活用は、どの程度取り上げられているか。</li> <li>・現実の問題に関する社会的事象は、どのように取り扱われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「身近な調査」の章では、調査の方法や資料の入手先について、目的に応じて地域の公共施設、情報手段などを効果的に使い分けるようよく配慮された内容になっている。</li> <li>○二次元コードを読み取ると、学習内容の理解を助けるためのデジタルコンテンツにアクセスすることができ、映像などの情報手段を活用して学べるようよく配慮された内容になっている。</li> <li>○領土をめぐる問題について、竹島や尖閣諸島、北方領土が日本固有の領土であることが明記され、島の写真や地図、年表を根拠に学べるようよく配慮されている。</li> </ul>
4	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○592g、310ページ。教科書専用用紙を開発し、5パーセント軽量した。丈夫な新用紙を用いている。</li> </ul>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した紙面や図版になっており、どの生徒も読みやすいよう、配慮されている。</li> </ul>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各ページ右に単元名と色が示され、見通しをもって学習が進められるようよく工夫されている。</li> <li>○巻末に用語解説、事項と地名に分けた索引を掲載するなどよく工夫されている。</li> <li>○各ページに小学校や他科目との関連を提示してある。</li> </ul>

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
社会	地理		日本文教出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的な知識の定着が図れるように工夫してある。</li> <li>○知識だけでなく災害防災教育、豊富な事例と実践的な学びができるよう工夫している。</li> </ul>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の巻頭に地理的な見方・考え方を提示している。</li> <li>○学習課題の解決に向けて、手がかりとなる「見方・考え方」を示している。</li> <li>○「深めよう」では、地理的な見方・考え方を働かせて、地域的特色をより詳しく調べ、深めることができる。</li> </ul>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の導入において、単元で学習する地域の特徴を示した写真資料が掲載されており、地域の特徴を視覚的に大観することができ、生徒の興味・関心が広がるよう工夫された構成になっている。</li> <li>○世界の各気候帯や各州、日本の各地方の学びの中で、実際に生活する人々の工夫や地域的特色を踏まえた人々の努力に生徒が触れることができるよう工夫された内容になっている。</li> <li>○「地理α」や「自由研究」のコーナーでは、自分の地域や生活とのつながりについて考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末では、重要語句を整理したり、主体的に自分の考えを表現したりすることで、家庭でも問題解決的な学習の学習習慣が身につくよう工夫された構成になっている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図・公共施設・情報通信ネットワークなどの活用は、どの程度取り上げられているか。</li> <li>・現実の問題に関する社会的事象は、どのように取り扱われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域調査の手法」の章では、インターネットを活用したり、地域の公共施設を訪れたりして、積極的に情報を収集するようよく明記されている。</li> <li>○デジタルマーク（QRコード）を読み取って、学習内容を確認できるようよく配慮された内容になっている。</li> <li>○領土をめぐる問題について、竹島や尖閣諸島、北方領土が日本固有の領土であることが明記され、島の写真や地図を根拠に学ぶことができるようよく配慮されている。</li> </ul>
4	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○556 g、298 ページ。</li> <li>○前回より 5 パーセント軽い紙と強度のある紙を使っている。</li> </ul>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した紙面や図版を見直しどの生徒も読みやすいよう、配慮されている。</li> <li>○小学6年生以上で学習する漢字については、重要語句だけすべて漢字にルビが入れている。</li> </ul>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各ページ右に単元名と色が示され、見通しをもって学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>○巻末に用語解説、索引を掲載するなど工夫されている。</li> <li>○小学校や他分野との連携コーナーが示されている。</li> </ul>